

平成 26 年 6 月の熱中症による救急搬送の状況

平成 26 年 6 月の熱中症による全国の救急搬送の状況（確定値）を
取りまとめましたので、その概要を公表します。

概 要

- 平成 26 年 6 月の全国における熱中症による救急搬送人員数は 4,634 人でした。
これは、昨年同時期の救急搬送人員数 4,265 人と比べて、1.1 倍の増となり、6 月の救急搬送人員数の調査を始めた平成 22 年以降、最も多かった平成 23 年の 6,980 人に次いで 2 番目に多い救急搬送人員数となりました。
- 救急搬送人員数の年齢区分をみると、高齢者（65 歳以上）が 2,205 人と最も多く、次いで成人（18 歳以上 65 歳未満）1,551 人、少年（7 歳以上 18 歳未満）802 人、乳幼児（生後 28 日以上 7 歳未満）75 人の順となっています。
- 搬送された医療機関での初診時における傷病程度をみると、軽症が最も多く 3,125 人、次いで中等症 1,357 人、重症 98 人、死亡 6 人となっています。
- 都道府県別人口 10 万人当たりの搬送人員数は、沖縄県が最も多く 13.00 人であり、次いで和歌山県 6.64 人、岡山県 5.85 人の順となっています。
- 熱中症を予防するには、こまめな水分補給、エアコン・扇風機を用いた室温調整及び無理せず適度に休憩を行うこと等が大切です。また、高齢者は暑さを自覚しにくい
ため、喉の渇きを感じにくく、小さな子供は汗腺が未熟なため、体温調整がしにくい
という特徴があるため、屋内でも熱中症に注意が必要です。
- 以下の HP にて、熱中症による救急搬送状況の速報値を毎週発表するとともに、熱中症予防策等について紹介した「熱中症対策リーフレット」を公表しています。また、
ツイッターを通じた注意喚起も行っています。

消防庁熱中症情報

http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html

熱中症対策リーフレット

<http://www.fdma.go.jp/html/data/tuchi2605/pdf/260514-1.pdf>

【資料】

[平成26年6月の熱中症による救急搬送状況](#)



（連絡先）

消防庁救急企画室

担当：日野原、平井、大迫

電話：03-5253-7529

FAX：03-5253-7539

平成 26 年 6 月の熱中症による救急搬送状況（確定値）の概要

平成26年6月の熱中症による救急搬送状況について調査を行ったところ、その概要は以下のとおりでした。

1 総 数

平成 26 年 6 月の全国における熱中症による救急搬送人員数は 4,634 人でした。

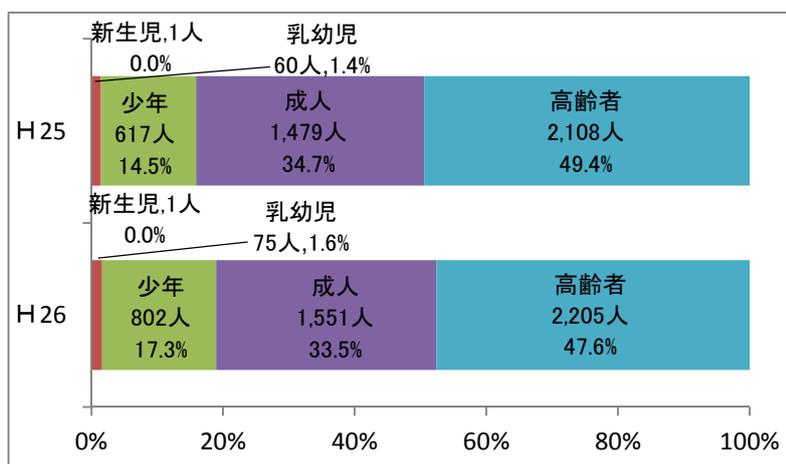
これは、昨年同時期の救急搬送人員数 4,265 人と比べて、1.1 倍の増となっています。（集計 1、集計 2、集計 3 参照）

2 内 訳

(1) 年齢区分ごとの搬送人員数

高齢者（65 歳以上）が 2,205 人（47.6%）と最も多く、次いで成人（18 歳以上 65 歳未満）1,551 人（33.5%）、少年（7 歳以上 18 歳未満）802 人（17.3%）、乳幼児（生後 28 日以上 7 歳未満）75 人（1.6%）の順となっています。（集計 1 参照）

熱中症搬送人員年齢区分（構成比）



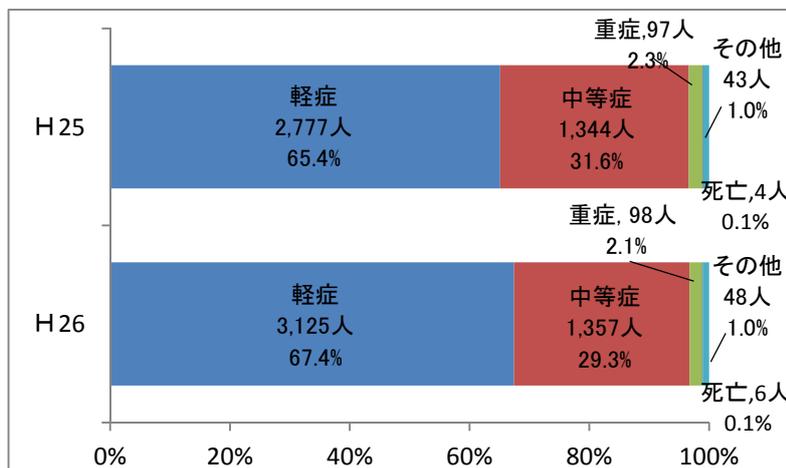
凡例

新生児：生後 28 日未満の者
 乳幼児：生後 28 日以上満 7 歳未満の者
 少年：満 7 歳以上満 18 歳未満の者
 成人：満 18 歳以上満 65 歳未満の者
 高齢者：満 65 歳以上の者

(2) 医療機関での初診時における傷病程度ごとの搬送人員数

軽症が最も多く 3,125 人（67.4%）、次いで中等症 1,357 人（29.3%）、重症 98 人（2.1%）、死亡 6 人（0.1%）となっています。（集計 1 参照）

熱中症搬送人員初診時傷病程度（構成比）

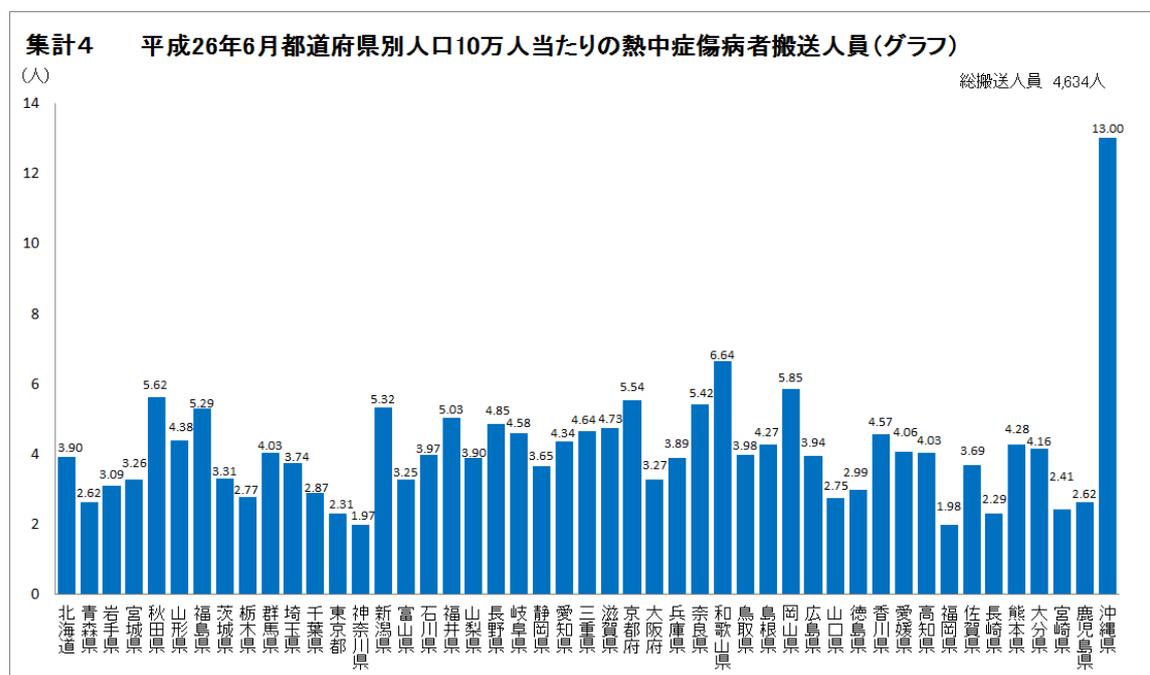


凡例

軽 症：入院を必要としないもの
 中等症：重症または軽症以外のもの
 重 症：3 週間の入院加療を必要とするもの以上
 死 亡：医師の初診時に死亡が確認されたもの
 その他 { 医師の診断がないもの
 傷病程度が判明しないもの
 その他の場所に搬送したもの

(3) 都道府県別人口 10 万人当たりの搬送人員数

沖縄県が最も多く 13.00 人であり、次いで和歌山県 6.64 人、岡山県 5.85 人の順となっています。(集計 4 参照)



3 その他

熱中症を予防するには、こまめな水分補給、エアコン・扇風機を用いた室温調整及び無理せず適度に休憩を行うこと等が大切です。

また、高齢者は暑さを自覚しにくい、喉の渇きを感じにくく、小さな子供は汗腺が未熟なため、体温調整がしにくいという特徴があるため、屋内でも熱中症に注意が必要です。

消防庁では、以下の HP にて、熱中症による救急搬送状況の速報値を毎週発表するとともに、熱中症予防策等について紹介した「熱中症対策リーフレット」を公表しています。また、ツイッターを通じた注意喚起も行っています。

消防庁熱中症情報

http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html

熱中症対策リーフレット

<http://www.fdma.go.jp/html/data/tuchi2605/pdf/260514-1.pdf>

参考 (気象庁「6月の天候」より)

月のはじめは高気圧が本州付近を東進し、その後、千島の東の高気圧が北日本を覆った。晴れて強い日射があったことに加えて、高気圧が優勢で大規模な下降気流に覆われたこと、中国大陸から高温な空気が流れ込んできたことから、北日本を中心に気温が平年を大幅に上回った。一方、低気圧が2日から8日にかけて本州南岸をゆっくりと東進し、湿った空気の流入した太平洋側では、関東地方を中心に記録的な大雨となった所があった。中旬は、北日本と西日本では気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多くなり、北日本では大雨となる日もあったが、東日本では晴れの日が多かった。下旬は、北・東日本では高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、上空の強い寒気の影響で雷雨となる日もあった。西日本では、旬の前半は晴れたが、旬の後半は梅雨前線の影響で曇りや雨となった。一方、旬の後半は日本の南で太平洋高気圧が強まり、沖縄地方は26日頃に梅雨明けした(速報値)。

平成 26 年 6 月の熱中症による救急搬送状況

1. 集計 1 平成 26 年 6 月都道府県別熱中症による救急搬送状況（表）
2. 集計 2 6 月都道府県別熱中症による救急搬送状況（平成 25 年～26 年）（表）
3. 集計 3 平成 26 年 6 月都道府県別熱中症傷病者総搬送人員昨年比（グラフ）
4. 集計 4 平成 26 年 6 月都道府県別人口 10 万人当たりの
熱中症傷病者総搬送人員（グラフ）
5. 集計 5 平成 26 年 6 月全国の熱中症による救急搬送状況（表）

集計1

平成26年6月都道府県別熱中症による救急搬送状況(表)

都道府県		平成26年6月1日～6月30日											
		年齢区分(人)						初診時における傷病程度(人)					
		新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
1	北海道	0	2	40	58	112	212	0	5	61	143	3	212
2	青森県	0	0	6	12	17	35	0	1	9	25	0	35
3	岩手県	0	0	6	21	13	40	0	0	17	23	0	40
4	宮城県	0	4	21	26	25	76	0	1	31	44	0	76
5	秋田県	0	0	5	14	40	59	0	2	22	29	6	59
6	山形県	0	1	8	12	29	50	0	3	16	30	1	50
7	福島県	0	3	17	28	55	103	0	3	27	73	0	103
8	茨城県	0	2	15	34	46	97	0	4	32	61	0	97
9	栃木県	0	0	3	23	29	55	0	0	25	30	0	55
10	群馬県	0	1	15	31	33	80	0	2	22	56	0	80
11	埼玉県	0	2	59	83	126	270	0	7	88	175	0	270
12	千葉県	0	1	32	63	82	178	0	3	63	111	1	178
13	東京都	0	4	71	107	125	307	0	9	114	184	0	307
14	神奈川県	0	4	42	61	72	179	0	5	69	105	0	179
15	新潟県	0	0	27	34	63	124	1	2	30	87	4	124
16	富山県	0	0	6	12	17	35	0	1	6	28	0	35
17	石川県	0	0	11	16	19	46	0	2	7	37	0	46
18	福井県	0	1	5	11	23	40	0	0	19	21	0	40
19	山梨県	0	0	7	12	14	33	0	4	9	20	0	33
20	長野県	0	3	8	34	58	103	1	0	49	51	2	103
21	岐阜県	0	1	11	31	51	94	0	3	38	53	0	94
22	静岡県	0	0	22	46	68	136	0	0	33	103	0	136
23	愛知県	0	9	51	122	141	323	1	7	71	244	0	323
24	三重県	0	2	12	30	41	85	0	0	8	64	13	85
25	滋賀県	0	4	12	16	35	67	0	1	13	53	0	67
26	京都府	0	4	12	52	77	145	0	2	30	113	0	145
27	大阪府	0	2	60	92	135	289	0	0	51	238	0	289
28	兵庫県	0	1	40	76	99	216	0	3	45	168	0	216
29	奈良県	0	3	9	24	39	75	0	4	28	43	0	75
30	和歌山県	0	0	13	20	32	65	0	2	11	49	3	65
31	鳥取県	0	0	4	6	13	23	0	0	6	17	0	23
32	島根県	0	1	6	4	19	30	1	0	12	17	0	30
33	岡山県	0	4	13	35	61	113	1	2	31	78	1	113
34	広島県	0	1	11	36	64	112	1	2	33	76	0	112
35	山口県	0	0	3	18	18	39	0	0	12	25	2	39
36	徳島県	0	0	4	8	11	23	0	0	6	15	2	23
37	香川県	0	0	3	16	26	45	0	3	16	26	0	45
38	愛媛県	0	2	8	22	25	57	0	2	12	43	0	57
39	高知県	0	0	1	17	12	30	0	1	2	26	1	30
40	福岡県	1	6	15	37	42	101	0	2	46	53	0	101
41	佐賀県	0	0	11	11	9	31	0	0	8	23	0	31
42	長崎県	0	0	7	9	16	32	0	0	11	21	0	32
43	熊本県	0	2	12	21	42	77	0	1	29	47	0	77
44	大分県	0	0	4	19	26	49	0	0	18	31	0	49
45	宮崎県	0	0	4	10	13	27	0	0	10	17	0	27
46	鹿児島県	0	2	7	11	24	44	0	1	21	22	0	44
47	沖縄県	0	3	43	70	68	184	0	8	40	127	9	184
合計【人】		1	75	802	1,551	2,205	4,634	6	98	1,357	3,125	48	4,634
割合		0.0%	1.6%	17.3%	33.5%	47.6%	100.0%	0.1%	2.1%	29.3%	67.4%	1.0%	100.0%

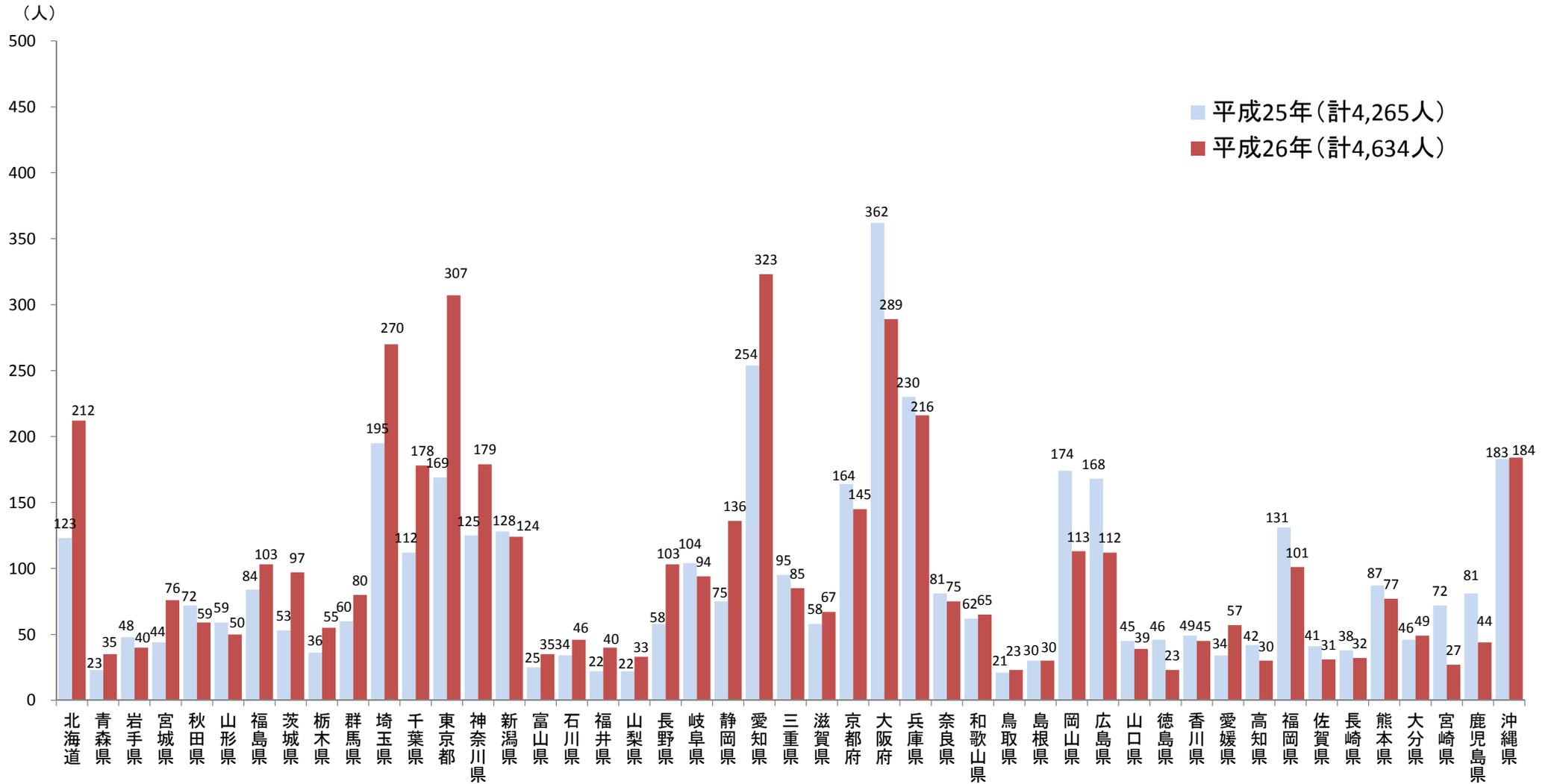
集計2

6月都道府県別熱中症傷病者搬送状況(平成25年～26年)(表)

都道府県		6月1日～6月30日			
		平成25年熱中症 搬送人員(人)	平成26年熱中症 搬送人員(人)	うち人口10万人当たりの 搬送人員(人)	昨年比(倍)
1	北海道	123	212	3.90	1.7
2	青森県	23	35	2.62	1.5
3	岩手県	48	40	3.09	0.8
4	宮城県	44	76	3.26	1.7
5	秋田県	72	59	5.62	0.8
6	山形県	59	50	4.38	0.8
7	福島県	84	103	5.29	1.2
8	茨城県	53	97	3.31	1.8
9	栃木県	36	55	2.77	1.5
10	群馬県	60	80	4.03	1.3
11	埼玉県	195	270	3.74	1.4
12	千葉県	112	178	2.87	1.6
13	東京都	169	307	2.31	1.8
14	神奈川県	125	179	1.97	1.4
15	新潟県	128	124	5.32	1.0
16	富山県	25	35	3.25	1.4
17	石川県	34	46	3.97	1.4
18	福井県	22	40	5.03	1.8
19	山梨県	22	33	3.90	1.5
20	長野県	58	103	4.85	1.8
21	岐阜県	104	94	4.58	0.9
22	静岡県	75	136	3.65	1.8
23	愛知県	254	323	4.34	1.3
24	三重県	95	85	4.64	0.9
25	滋賀県	58	67	4.73	1.2
26	京都府	164	145	5.54	0.9
27	大阪府	362	289	3.27	0.8
28	兵庫県	230	216	3.89	0.9
29	奈良県	81	75	5.42	0.9
30	和歌山県	62	65	6.64	1.0
31	鳥取県	21	23	3.98	1.1
32	島根県	30	30	4.27	1.0
33	岡山県	174	113	5.85	0.6
34	広島県	168	112	3.94	0.7
35	山口県	45	39	2.75	0.9
36	徳島県	46	23	2.99	0.5
37	香川県	49	45	4.57	0.9
38	愛媛県	34	57	4.06	1.7
39	高知県	42	30	4.03	0.7
40	福岡県	131	101	1.98	0.8
41	佐賀県	41	31	3.69	0.8
42	長崎県	38	32	2.29	0.8
43	熊本県	87	77	4.28	0.9
44	大分県	46	49	4.16	1.1
45	宮崎県	72	27	2.41	0.4
46	鹿児島県	81	44	2.62	0.5
47	沖縄県	183	184	13.00	1.0
計		4,265	4,634		

集計3

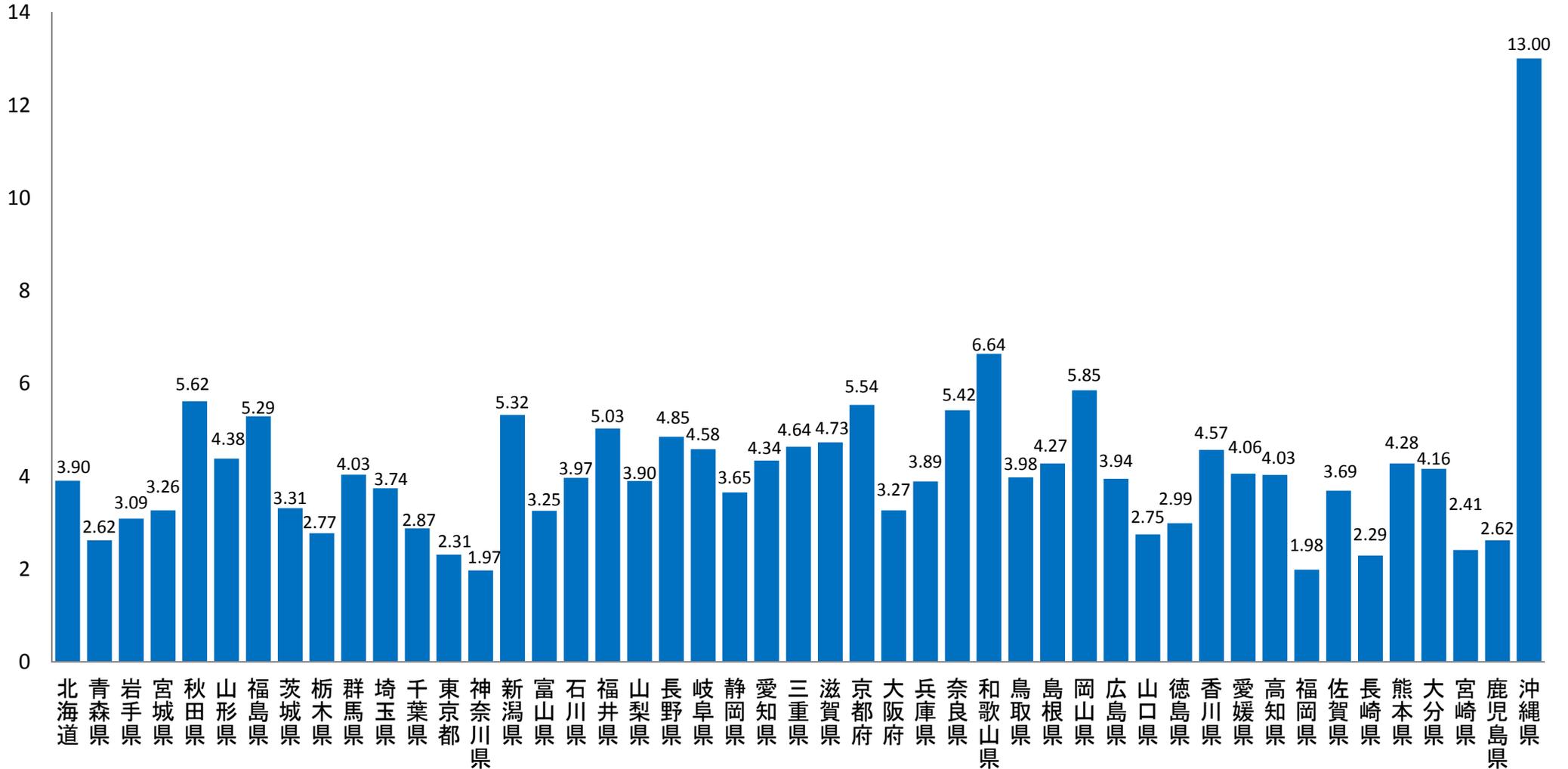
平成26年6月の都道府県別熱中症傷病者総搬送人員昨年比(グラフ)



集計4 平成26年6月都道府県別人口10万人当たりの熱中症傷病者搬送人員(グラフ)

(人)

総搬送人員 4,634人



集計5

平成26年6月全国の熱中症による救急搬送状況(表)

日付	曜日	熱中症搬送人員(人)	年齢区分(人)						初診時における傷病程度(人)					
			新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
6月1日	土	667	0	7	167	221	272	667	2	15	156	490	4	667
6月2日	日	404	0	5	73	122	204	404	1	14	119	266	4	404
6月3日	月	298	0	5	49	95	149	298	0	4	97	195	2	298
6月4日	火	187	0	3	34	48	102	187	0	5	72	106	4	187
6月5日	水	64	0	2	12	20	30	64	0	1	18	45	0	64
6月6日	木	53	0	0	14	12	27	53	0	0	9	44	0	53
6月7日	金	60	0	0	22	15	23	60	0	1	12	46	1	60
6月8日	土	165	0	0	30	66	69	165	0	2	42	121	0	165
6月9日	日	157	0	2	10	60	85	157	0	5	42	110	0	157
6月10日	月	136	0	2	16	58	60	136	0	3	47	85	1	136
6月11日	火	61	0	2	9	25	25	61	0	1	18	41	1	61
6月12日	水	70	0	1	11	23	35	70	0	2	15	50	3	70
6月13日	木	114	0	0	21	34	59	114	0	2	39	70	3	114
6月14日	金	152	0	3	37	48	64	152	0	2	47	103	0	152
6月15日	土	197	0	5	34	68	90	197	0	5	49	140	3	197
6月16日	日	153	1	2	13	54	83	153	0	4	50	99	0	153
6月17日	月	98	0	2	15	44	37	98	0	0	27	69	2	98
6月18日	火	51	0	1	3	27	20	51	0	0	13	37	1	51
6月19日	水	159	0	8	36	41	74	159	1	3	42	113	0	159
6月20日	木	152	0	3	14	53	82	152	0	2	52	97	1	152
6月21日	金	145	0	3	34	41	67	145	0	2	43	100	0	145
6月22日	土	63	0	0	13	21	29	63	0	1	19	41	2	63
6月23日	日	110	0	1	9	35	65	110	0	3	36	70	1	110
6月24日	月	113	0	1	7	39	66	113	0	1	38	73	1	113
6月25日	火	139	0	3	13	52	71	139	0	2	58	77	2	139
6月26日	水	132	0	2	13	49	68	132	0	6	37	88	1	132
6月27日	木	124	0	3	15	42	64	124	0	2	30	92	0	124
6月28日	金	107	0	3	35	32	37	107	0	7	36	63	1	107
6月29日	土	198	0	3	38	70	87	198	1	2	57	132	6	198
6月30日	日	105	0	3	5	36	61	105	1	1	37	62	4	105
計		4,634	1	75	802	1,551	2,205	4,634	6	98	1,357	3,125	48	4,634
熱中症の搬送人員 に対する割合			0.0%	1.6%	17.3%	33.5%	47.6%	100.0%	0.1%	2.1%	29.3%	67.4%	1.0%	100.0%